

平成 26 年度第 2 回目

平成 26 年 6 月 25 日（水）午前 10：30～11：30

会 次 第

議題①園芸療法活動体験

議題②活動報告・事故報告

(概要)

1. 議題①開会

園芸療法活動体験～第 8 回園芸のじかんを利用者と共に

3 棟から利用者 8 名がさくら棟に集まり、委員の方々と 4 組に分かれてグリーンカーテン用のプランター作りに取り組んだ。苗は 5 月 2 日に利用者の皆さんが種を播いたものを利用。

導入—リアリティ・オリエンテーション—季節の花の回想から、作業説明—作業—仕上げ—感想をうかがった。

委員の皆さんは利用者さんとの作業を見守りながらサポートされ、主体性を引き出すように関わることのご理解が見られた。

また、利用者の皆さんには少し緊張も見られたが、いつも通り園芸活動に集中していた様子だった。

賑やかに活動は進み、予定時間で作業を終えられた。

利用者さんが退室した後、テーブル、床の片付けや掃除を委員の方でお手伝いいただき、その後の会議も滞りなく始めることが出来て大変ありがたかった。

(出来上がったプランターは、さくら棟の南側に設置した。)

1. 議題②会議

事業所代表あいさつ

今後の地域包括ケアシステムに向けたひとつの取り組みとして、東風(サービス付高齢者専用住宅)における地域交流カフェの展開について紹介。

i. 5 月～6 月の活動報告

〈利用者行事〉

○ 母の日・父の日家族交流会

5/18 (日) あやめ棟—音楽療法を取り入れて家族の方も楽しんだ後、各利用者への家族からの母の日メッセージを紹介しカーネーションとお渡しした。昼食を挟み家族同士も交流が見られた。〈2 家族 3 名参加〉

5/25 (日) すみれ棟—吉野公園の散策とホームでの昼食。家族の付添でいつもよりも長く歩いてバラ園などを楽しめた方もいらっしゃった。〈3 家族 6 名参加〉

6/1 (日) さくら棟—普段の時間の流れや食事をご家族にも体験して頂いた。レクレーションでは、玉入れの対抗戦や利用者・ご家族で協力したゲーム等を通して、利用者・家族・スタッフの交流が図れた。各居室の整理もして頂くことができた。

< 7家族 9名参加 >

*すべてのご家族へ文書にて主治医の変更や防災対策についてなどを説明した。

○5/30 さつま芋の植え付け

園芸療法活動のプログラムのひとつとして、恒例のさつま芋の植え付けを行った。19名が苗植えの作業に携わった。

6/6 ジャガイモの収穫, 6/13 トウモロコシ, 落花生, ひまわりの植え付け

(職員関係)

○5/10 県認知症 GH 協議会研修会
～ケアプラン作成当たるポイントと作成について (1名参加)

○5/19 食中毒・感染症予防に関する勉強会
環境衛生委員会より、食事作りにかかわる衛生管理を中心に。

○5/25 認知症 GH 協会研修会 (1名参加)
～施設ケアマネジメントのアセスメントとケアプラン

○6/13 接遇に関する法人内研修～カラーセラピストによる (6名参加)

○6/16 「薬～軟膏の種類と注意点」勉強会 (22名参加)

○6/28 看取り介護実践フォーラム (1名参加)

ii. 事故報告

平成 25 年 4 月 16 日～6 月 15 日

(一覧表添付)

*全体で薬関連が 13 件と最も多い。服薬の認識が薄いのか? 飲込まで見届ける必要があるが見ていない時に吐き出していることも多い。

*転倒リスク (7 件) ある方の立上りに対し自立の尊重と制止の境界が難しい。

*異食 (4 件) は予期せず起こる事も多く危険物の管理と見守りの必要性を改めて認識している。

内訳 [ヒヤリハット] 薬関連 ; 13 件 / 転倒リスク ; 7 件 / 異食 ; 4 件 / ふらつき ; 3 件 / 誤嚥 ; 1 件 / 皮下出血 ; 1 件 / チューブ抜去リスク ; 1 件 / 設備関係 ; 2 件

[事故] 転倒 ; 1 件 / 皮膚剥離 ; 1 件

以上

出席者 ; 地域代表, 家族代表, 事業所代表, 利用者等 計 16 名